

平成28年10月13日定例教授会議事抄録

出席者

高見澤所長

板倉, 大木, 佐藤, 菅, 園田, 高橋, 田中, 長澤, 中島, 名和, 平勢, 榎屋, 松田, 安富の各教授

青山, 李, 池亀, 額定其勞, 小寺, 鍾, 塚本, 馬場, 古井, 森本の各准教授

海外渡航者

黒田教授

議事に先立ち10月1日付け採用教員から挨拶があった。

議事

9月15日開催の定例教授会の議事抄録を承認した。

通知事項

1. 教員等の公募 資料P6のとおり1件。
2. 各種研究助成等の募集について、資料P7のとおり1件。

報告事項

3. 所長報告

高見澤所長から、以下の会議等について報告があった。

1) 拡大入試監理委員会 (9月27日)

資料P8に基づき、同委員会での報告事項の概要について報告があった。また、入試業務は非常に重要であることから、関連業務のある期間は研究会や出張などの予定を入れずに日程を開けておくよう要請があった。

1) 科所長会議 (9月27日)

①2016年度学術俯瞰講義

資料P11～12に基づき、2016年度学術俯瞰講義について報告があった。

②日本留学希望者のためのMOOC「Studying at Japanese Universities」の公開

資料P13～15に基づき、日本留学希望者のためのMOOC「Studying at Japanese Universities」の公開について報告があった。

③女性教員(教授・准教授)増加のための加速プログラムに係る学内公募

資料P16～27に基づき、女性教員(教授・准教授)増加のための加速プログラムに係る学内公募について報告があった。

なお、今回は応募期限までに研究所として新しいプログラムを策定することは難しいことから、応募はしない旨説明があった。

④第1回全学ハラスメント防止研修会の実施

資料P28～30に基づき、第1回全学ハラスメント防止研修会の実施予定について報告があった。

2) 総長室総括委員会（10月11日）

報告事項、特になし

3) 科所長会議（10月11日）

研究者サポート要員配置支援の実施について

資料P32～46に基づき、研究者サポート要員配置支援の実施について説明があった。

5) 教員の海外渡航について（報告）

総務委員会にて資料P47～49のとおり9件を承認した旨報告があった。

6) 委員等の応嘱について

資料P50のとおり4件を承認した旨報告があった。

このことに関連し、本年4月より取扱い変更となった学術団体からの依頼に基づく教員の兼業について、すべてのケースで許可手続きが不要となったものではないことについて改めて説明があり、変更内容の誤解による手続き漏れのないよう注意喚起があった。

8) その他

①日本チリ学術フォーラム出張期間中の所長業務は中島副所長が代行する旨連絡があった。

②来年度の復旦大学、フランス社会科学高等研究院へ派遣する教員の募集を行うこと及び条件等について説明があり、希望者は11月末までに所長宛に申し出るよう要請があった。

③フランス社会科学高等研究院との学術交流協定に基づく訪問研究員の来日の日程および滞在中の予定について連絡があった。

④教授会資料のペーパーレス化推進として、昨年4月の教授会において会議資料は会議前日夕刻を目途にいんどらねっとに掲載する運用としてきたが、緊急性のある議題対応や他の業務との重複等のため難しい場合があることから、「会議開始前までに掲載」する運用に変更する旨通知があった。

また、このことに関連し、教授会資料案を用いての打ち合わせは会議前日の午前に行っていることについて説明があり、報告や審議事項にかかる資料は期限内に提出するよう要請があった。

⑤平成29年度初年次ゼミナール文科について開講希望調査があり、引き続き名和教授に引き受けていただく予定である旨報告があった。

⑥研究所内でのA3超の大型プリンターの需要度を調査しそれによって購入等の検討を行いたいとして、ASNET、GJS、情報・広報委員会で需要や必要性の検討を行い、意見をまとめること、その結果を受け財務委員会は購入、レンタル、外注などの方策について検討するよう要請があった。

4. 各委員会報告

1) 財務委員会

松田委員長から、来年度の予算要求について要求書作成が始まる時期となってきた旨の報告があり、関係教員へ資料の作成を依頼するので協力願いたい旨要請があった。

2) 情報・広報委員会

古井委員長代理から、10月15日に開催する「第16回公開講座」の現時点での申し込み状況について報告があった。

高見澤所長から、本日17時より東洋文化研究所1階ロビーにおいて開催される、東文研・ASNET・GJS共催の「東京大学 秋の日本・アジア交流集会」について案内があった。

3) 研究企画委員会

池亀委員から、本日14時から開催される徐行助教の着任研究会について案内があった。

5) 東洋学研究情報センター委員会

平勢副センター長から、来年度刊行のセンター叢刊に掲載する原稿の募集通知を发出するとの連絡があった。

6) 図書委員会

安富委員長から、図書行政商議会で新図書館工事の補正予算がつき、工期が繰り上がることになったため、来年度以降総合図書館休館の可能性があるので、学生指導の際は注意してほしい旨説明があった。

また、自動化書庫への入庫方針案が出され、問題があれば次回図書行政商議会で意見を出すことになっており、図書委員会で検討したが、資料の移管手続がアジア研究図書館部会の方針と異なっていると指摘があり、同部会に検討を依頼することになった。

中島教授から、入庫方針案については斎藤部会長に問合せ中であること、アジア研究図書館の規則案については総合図書館で検討を始めたとの補足があった。

大木教授から分館のフロアプランのたたき台を作成したと報告があった。

高見澤所長からは、所長として動くべき時があれば動くと言言があった。

9) その他

男女共同参画連絡担当者の菅教授から、

①研究者サポート要員配置支援について、支援希望者はすでに配信済みのメールに従って申請書を提出するよう案内があった。

②名刺貼付用のくるみんマークシールについて説明および配布があった。

5. その他

1) 国際短期プログラム実施報告について

佐藤教授より、資料P 5 2に基づき、プリンストン大学との戦略的パートナーシップによるサマープログラムについて報告があった。

園田教授より、資料P 5 3に基づき、国際総合日本学（G J S）サマープログラムについて報告があった。

中島教授より、10月17日（月）および10月18日（火）に開催されるシカゴ大学ワークショップについて案内があった。

審議事項

6. 教員の海外渡航について（審議）

高見澤所長から説明があり、資料P 5 4のとおり1件承認された。

7. 訪問研究員の受け入れについて

該当教員から説明があり、資料P 5 5のとおり1件承認された。

8. 今後の著名外国人教員の受け入れについて

高見澤所長から、平成29年度以降に招へい予定の著名外国人教員の名前と来日時期について以下の提案があり、承認された。

平成29（2017）年度 包、夏

平成30（2018）年度 チョウキョクトウ

平成31（2019）年度 中島教授推薦予定

9. 南アジア研究部門人事選考委員会委員の交代について

高見澤所長から、南アジア研究部門人事選考委員会委員の交代について提案があり、承認された。

10. 次期所長候補者選考の開始について

高見澤所長から、資料P 5 6～5 7に基づき、次期所長候補者の選考スケジュールについて説明があり、資料一部訂正の上、承認された。また、併せて選挙管理担当者の指名及び次期所長候補者適任者の推薦手順が確認された。

なお、所長候補者の選出にあたっては、教授会構成員総数の3分の2以上の出席が必要条件となるため、必ず出席していただきたい旨要請があった。

11. その他

森本准教授から、ノースカロライナ大学チャペルヒル校のアジア研究者から交流希望の相談が届いているので、興味のある教員は森本まで連絡いただきたい旨案内があった。

以上